

2023年12月5日

株式会社未来樹と移動式急速EV充電機を活用し防災力強化に向けて連携 ～移動式急速EV充電機を活用した災害時連携に関する協定を締結～

株式会社熊本銀行（取締役頭取 野村 俊巳、以下「熊本銀行」）は、株式会社未来樹（代表取締役 松村 美沙都、以下「未来樹」）と「移動式急速EV充電機を活用した災害時連携に関する協定」（以下、本協定）を締結しました。

本協定は、移動式急速EV充電機を活用した、災害発生時の熊本銀行営業エリアにおける被災者支援、および災害復旧支援を図ることによる、地域社会への貢献に資することを目的とした協定です。

また、移動式急速EV充電機は、熊本県内で収集した廃食油を再生した高純度バイオディーゼル燃料（以下、BDF※）を燃料としています。BDFを地域で消費していくことは、燃料の地産地消となりカーボンニュートラル実現に貢献する取組みとなります。

※ BDFは植物由来の食用油が原料であることから、燃焼時に排出されるCO₂は植物が成長過程で吸収したCO₂が排出されるため、CO₂の排出量はゼロカウントとなる環境に優しい燃料です。

■ 本協定の経緯と背景

- 未来樹は、かねてより廃食油を回収し、環境負荷の少ないBDFとして生まれ変わらせるプロジェクト（以下、油田プロジェクト）に積極的に取り組んでいます。
今般、未来樹はBDFを燃料とした移動式急速EV充電機を自社開発しました。移動式急速EV充電機は100%BDFで発電し平常時は電気自動車への充電をするほか、災害発生時は被災地域に運搬し通信機器や家電の非常用電源としても使用できる全国初の設備となります。
- 一方、熊本銀行は、2023年7月より油田プロジェクトに参画し、熊本銀行役職員家庭の廃食油を収集、提供する活動に取り組んでおります。
- この度、未来樹が推進する油田プロジェクト並びに移動式急速EV充電機、及び、熊本銀行が取組む地域社会への貢献、双方の取組みにお互いが賛同し、本協定の締結を行う運びとなりました。

〈本協定の締結式の様子〉



右から、熊本銀行 北岡常務、未来樹 新永取締役

（次ページへ続く）

■ 本協定の概要と主な連携内容

- ① 熊本銀行営業エリアにおける災害発生時の、被災地域での対処活動及び協力体制の構築に関すること
 - 熊本銀行営業エリアにおける災害が発生した際、熊本銀行本支店の駐車場において、未来樹がBMEを無償で貸与・設置する。
 - 設置場所近隣住民のスマートフォン等通信機器や小型家電の充電、及び、設置場所近隣住民や事業者が所有する電気自動車を充電し、所有者が自宅等で電気自動車を非常用電源として使用できる体制を整える。
- ② 平常時の防災及び災害対処活動に関すること
 - 防災訓練の日を定め定期訓練を行うことにより、災害時における移動式急速EV充電機の活用を積極的にアピールし、環境、防災意識向上を目指す。

〈移動式急速EV充電機を活用したカーボンニュートラル、災害時復旧支援のイメージ図〉



今後も熊本銀行は、地域の持続的な発展に向け、グループ経営理念に基づく事業活動を通じて、地域が抱える社会課題・環境課題の解決に取り組んでまいります。

以上

< 参考 >

- 株式会社未来樹「移動式急速EV充電機」については[こちら](https://k-miraiju.jp/)をご覧ください。
【URL】 <https://k-miraiju.jp/>
- 熊本銀行「わくわく油田プロジェクト参画について」ニュースリリースは[こちら](https://www.kumamotobank.co.jp/pdf/newsrelease/20230724release.pdf)をご覧ください。
【URL】 <https://www.kumamotobank.co.jp/pdf/newsrelease/20230724release.pdf>

《 本件に関するお問合せ先 》
株式会社熊本銀行 営業推進部 担当：中村、徳田
TEL 096 - 385 - 1141